

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 20 日現在

機関番号：35404

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：平成 20 年度 ～平成 23 年度

課題番号：20530500

研究課題名(和文) 寄せ場的労働市場の拡散と不安定就労問題に関する社会学的研究

研究課題名(英文) Sociological Studies on Unstable Starting Work Problems and Diffusion of "YOSEBA" Labor Market

研究代表者

中根 光敏 (NAKANE MITSUTOSHI)

広島修道大学・人文学部・教授

研究者番号：40212089

研究分野：

科研費の分科・細目：社会学

キーワード：寄せ場、労働市場、不安定就労、非正規雇用、プレカリアート、労働運動、雇用問題、貧困

1. 研究計画の概要

本研究は、以下のように大きな三本の柱をもとにして行う計画である。

まず、1986年に制定・施行され、その後改正を重ねていく人材派遣業法をめぐって、さらにフリーターやニートを含めた不安定就労問題をめぐって、社会問題の構築主義的アプローチにもとづいて、現代日本社会における不安定就労問題の社会問題の構成過程を、主として文献研究を通じて、整理していく。

次に、フリーターやニートなど若年不安定就労対策を行っているジョブカフェなど行政機関、フリーターや非正規雇用者問題を運動の中心にすすめているユニオン、フリーターやニートに対する支援活動を行っている団体やコミュニティなどに対するインタビュー調査及び参与観察調査を通じて、不安定就労問題をめぐる社会的アクションの実態を明らかにしていく。

さらに、不安定就労者に対するインタビュー調査を行い、とりわけ生活者が抱える「生きにくさ」を浮かび上がらせることを通じて、不安定就労問題の深層を明らかにする。

最後に、これら三つの柱に分類した研究を有機的に関連づけていくことを通じて、現代日本社会における不安定就労問題の全体像へと迫る。尚、調査は、東京、大阪、名古屋、広島、福岡をフィールドとして行う予定である。

2. 研究の進捗状況

まず、本研究の課題をグローバル化と関連づけるための理論的枠組みを欧米の文献研究を中心に検討した。とくに、欧米における

労働問題の労働政策の変容と日本のそれを比較検討した。次に、現代の不安定就労問題の実態を明らかにするために、とりわけ東京・大阪・京都・名古屋でフィールド調査を行った。具体的には、現代的な労働・雇用問題の実態へと迫るために、サービス業労働者や女性労働者が抱えている問題に関して、労働条件・雇用形態の詳細・生活上抱えている問題などを調査し、さらに、非正規の雇用実態に迫るために実体的な社会空間とウェブ空間を分けて調査を行った。

結果、寄せ場的労働市場の拡散は、正規労働者間においても経済的格差だけでなく、文化的セグリゲーションをもたらしており、非正規労働者の多くが多様な困難を抱えているにもかかわらず、そうした困難が社会問題として顕在化しにくく、個人的な問題として対処せざるをえない状況にあることが明らかになった。これらの実態を明らかにすべく、本研究の総括的なまとめに取り組んでいきたい。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

理由は、フィールド調査によって得られたデータの整理・分析が当初の計画より遅れていることと、日本政府によって検討されている非正規雇用に関する法改正が想定外に遅れていることである。やや、調査に重点を置きすぎて、予定していた研究成果を提示できていない。

4. 今後の研究の推進方策

本研究の最終年度にあたる本年度は、調査を補足的なものに限定し、研究成果をまとめ

ることに極力重点をおいていくことにする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 0 件)

〔学会発表〕(計 1 件)

中根光敏、寄せ場的労働市場とは何か、第 24 回日本解放社会学会大会、2008 年 9 月 6 日、中京大学名古屋キャンパス

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況(計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕